

東京都立昭和高等学校 英語科 CAN-DOリスト(2024－2026)

技能(五領域)	項目	第1学年(学年末)	第2学年(学年末)	第3学年(卒業時)	卒業後
	CEFR-Jとの関連	A2-1 ～ B1-1	A2-2 ～ B1-1	B1-1 ～ B1-2	B2-2以上
英語検定試験 における目標	実用英語技能検定 (英検)	準2級相当 90%以上 2級相当 40%以上	2級相当 70%以上 準1級相当 10%以上	2級相当 80%以上 準1級相当 20%以上	準1級以上
	英検CSEスコア	1700以上	1900以上	2000以上	2300以上
	GTEC到達目標スコア	750以上	850以上	1000以上	1250以上
Listening 聞くこと	実生活に関すること	はっきりと話されれば、学校や公共の乗り物、駅、空港の短い簡潔なアナウンスを理解し、行動に移すことができる。	はっきりと話されれば、買い物で値段や基本的な使用方法などの商品説明や、外国の行事の説明の概要を聞いて理解することができる。	簡単な内容であれば、自然の速さの放送などを聞いて、自分に興味のある情報の大部分を聞き取ることができる。	自然な速さで標準的な発音の英語で話されていれば、現代社会などのトピックについて、相手の意図を理解することができる。
	授業に関すること	英語コミュニケーションⅠの教科書の基本的なリスニング活動に出てくる短い話や会話、スピーチやプレゼンテーションを聞いて、話し手が最も伝えたいことなど理解することができる。	英語コミュニケーションⅡの教科書のリスニング活動に出てくる話や会話、プレゼンテーションやディスカッションで、身近な話題であれば、自然な速さで話される英語であっても、話し手の意図や内容を的確に理解することができる。	英語コミュニケーションⅢの教科書のリスニング活動に出てくる、ある程度の長さで複数の話題が含まれる話や会話を聞いて、話し手の意図や内容を的確に理解することができる。	
Speaking 話すこと (やりとり)	実生活に関すること	「自分のこと」などなじみのある話題について、即興で英語でのやりとりができる。	簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたりすることができる。。	自分にとって興味のあるテーマ(映画・本など)であれば、そのあらすじや出来事について、自分の意見を入れながら、即興で英語のやりとりを続けることができる。	一般的な分野から、専門的な分野まで幅広いトピックの会話に積極的に参加し、自分の考えを的確に伝導することができる。
	授業に関すること	英語コミュニケーションⅠや論理・表現Ⅰの教科書のレッスンや短い物語の概要と感想を、簡単な英語で即興で述べることができる。	英語コミュニケーションⅡや論理・表現Ⅱの教科書のレッスンや比較的長めの文章の概要や感想を、即興で述べ、意見の交換をすることができる。	英語コミュニケーションⅢや論理・表現Ⅱの教科書のレッスンや長めの文章の内容について、自分の意見を即興で述べ、必要な情報を加えながら簡単なディスカッションやディベートができる。	
Speaking 話すこと (発表)	実生活に関すること	簡潔な語句や文を使って、自分の趣味や特技について触れながら、自己紹介することができる。また、質問にも英語で答えようとするすることができる。	身近な社会的な話題についてスピーチを英語で行うことができる。、また、質問にも英語で答えることができる。	国際的な話題や社会問題など、ニュースで取り上げられている話題について、英語でスピーチすることができる。また、質問にも英語で的確に答えることができる。	ディベートなどで、社会問題などに関して、関連事例を的確に加えながら、自分の視点を明確に展開し、話を続けることができる。
	授業に関すること	英語コミュニケーションⅠや論理・表現Ⅰのレッスンの内容について、写真やイラストなどを使って、順序立てて英語による簡単なプレゼンテーションができる。	英語コミュニケーションⅡや論理・表現Ⅱの教科書のレッスンの内容について、写真やイラストなどを使って、自分の感想や意見を、理由を添えながらスピーチすることができる。	英語コミュニケーションⅢや論理・表現Ⅱのレッスンの内容について、様々な機器や写真などを使って、情報や自分の意見を、理由を述べながらスピーチすることができる。	
Reading 読むこと	実生活に関すること	簡単な語句を用いて書かれた日常生活や文化の紹介、お知らせを読み、概ねその内容を理解し、行動に移すことができる。	インターネットや参考図書などを調べて、文章の構成を意識しながら、情報を手に入れることができる。また、平易な英語で書かれた長めの物語の筋を理解することができる。	一般的関心の高い話題を扱った英語の文章を、辞書を使わずに、相違点と共通点、抽象的内容と具体的な内容をとらえながら読むことができる。	一般向けに書かれた英字新聞やインターネットの英語の文章を、辞書を多用せずに読み、必要な情報や論点を読みとることができる。
	授業に関すること	中学生用に書かれた長めの英文を、1分間に80語以上の速さで読み、理解することができる。 英語コミュニケーションⅠの教科書の本文の、1つの段落内の要点や内容のつながりを理解しながら読むことができる。	英語コミュニケーションⅠの教科書の英文を辞書を使わずに、1分間に80語以上の速さで読んで、理解することができる。 英語コミュニケーションⅡの教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解しながら読むことができる。	英語コミュニケーションⅡの教科書の英文を辞書を使わずに、1分間に100語以上の速さで読んで、理解することができる。 英語コミュニケーションⅢの教科書の、本文中の重要な点や書き手の意図を理解して、自分の意見と比較しながら、クリティカルな視点で読むことができる。	
Writing 書くこと	実生活に関すること	身の回りの出来事や趣味、自分に直接必要な領域の事柄であれば、簡単な描写を行って相手に伝えることができる。	依頼したり誘ったりする個人的なメールや手紙を書くことができる。また、辞書を使えば、日本の文化や慣習について書くことができる。	自分の学校や地域のこと、日本の文化や慣習について相手に分かるように書いて伝えることができる。	明瞭で結束性の高いエッセイやレポートなどを、幅広い語彙や複雑な文構造を用いて、書くことができる。
	授業に関すること	授業で読んだ英語の文章の要点を、その内容を知らない人にわかりやすく書いて伝えることができる。	自分に関心のある事柄について、パラグラフを用いて、主張と根拠をはっきりさせながら、長めの文章で自分の意見を書くことができる。	社会問題やニュースなどについて、必要に応じて表現を変えながら、パラグラフの構成を意識して、自分の主張を読み手にわかりやすく書いて伝えることができる。	